

～新1年生の姿から～

新年度が始まって1か月が過ぎました。初めは緊張気味だった児童生徒も学校のリズムに慣れてきました。特に新小学1年生は、初めての学校、初めての先生、おうちの方と長時間離れて過ごすことの不安とストレス、疲れがたくさんあったことでしょう。



それでも朝はみんなにこにこして学校に来てくれています。きっと保護者の皆さんが、おうちではゆったり過ごすよう体調管理をしてくださっているのでしょう。また、朝学校の玄関で送り出す際の明るい「行ってらっしゃい」という言葉がけや笑顔、ポンポンと頭や背中を軽く叩いて温かく送り出してくださる姿もとても微笑ましいです。そんな温かい励ましがあるからこそ、外界へ飛び込んで来ることができると思います。

中学部・高等部の生徒も新しい制服や新しい環境への戸惑いは少なくなかったと思います。それでもそれぞれのペースで学校生活に慣れ、落ち着いて過ごしています。毎朝元気な挨拶をしてくれるのがうれしくもあり、頼もしくもあります。

新しい世界に踏み出すのは、大人でさえ不安です。川を飛び越す時のように、自分自身で呼吸を整え、覚悟を決めることが必要です。大人が先に橋を架けてあげたり、一緒に手をつないで渡ったりすることも大事な場合がありますが、経験を積みながら信じて見守りつつ、ここぞという時は手を離し、一人で進むのを後押しすることが、本人の力を引き出し伸ばすことにつながります。

とはいえ、調子が良い時もあれば悪いときもあります。きっとそれぞれのペースも違います。タイミングを図るのは難しいですね。紆余曲折しながら、時には戻ったり迷ったりしながら、らせん階段をのぼっていくのが人生です。できないことだけに目を向けるのではなく、結果を急がずに、できたことを認め、自信をつけるような言葉をかけ、一步一步前進する力をつけてあげたいものです。

さあ、今日も子どもたちの目が輝く瞬間がいくつ見られるでしょうか。楽しみます。

